

報道関係者各位
プレスリリース

No. BM240227-01
2024年2月27日
株式会社リンク

**「ベアメール 迷惑メールスコアリング」にて
DMARC レポートの分析機能を提供開始
~~必要性が高まる DMARC の導入・運用を支援~~**

株式会社リンク（本社：東京都港区、代表取締役社長：岡田 元治）は、メールの健全性を診断・モニタリングするサービス「ベアメール 迷惑メールスコアリング」において、本日より DMARC 分析機能の提供を開始します。

フィッシング詐欺やサイバー攻撃など、なりすましメールによる脅威はますます高まりつつあり、その防止策として DMARC（※1）の導入が推進されています。DMARC は金融機関や大手企業を中心に導入が進んでいますが、日本全体での普及率は約 6.6%（※2）と非常に低い水準に留まっています。2024年2月から適用開始となった Gmail の送信者ガイドラインでは、1日5,000通以上の大量配信を行う送信者は DMARC の導入が必須化されており、DMARC 対応の必要性が高まりつつあります。

※1：DMARC (Domain-based Message Authentication, Reporting, and Conformance) とは、送信ドメイン認証技術のひとつで、SPF (Sender Policy Framework) と DKIM (DomainKeys Identified Mail) の認証ドメインおよび認証結果とメールに表示される送信元アドレスを照合することで「なりすまし」を防ぐ技術。認証に失敗したメールの取り扱いをポリシーによって指定したり、メール配信に関するレポートを受け取ったりすることも可能。

※2：総務省が公開している 2023年6月時点での送信ドメイン認証技術の設定状況データより、メール送信に利用されていると考えられる JP ドメインにおける DMARC の設定数の割合。

参考：「総務省 | 電気通信消費者情報コーナー | 迷惑メール対策」統計データ>JP ドメイン名の種別ごとにおける送信ドメイン認証技術の設定状況 https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/d_syohi/m_mail.html#toukei

DMARC は、ポリシーを quarantine（隔離）あるいは reject（拒否）に設定することでなりすまし防止の効力を発揮しますが、そのためには自社のメール配信状況を把握し、認証に失敗しているメールの修正対応を行う必要があります。自社ドメインからのメール配信状況を把握するためには DMARC レポートの分析が有効ですが、DMARC レポートは XML 形式のファイルとして各メールプロバイダから日々大量に送られてくるため、人の手で集計するのは困難であり、自動的に集約して可視化する仕組みがなければ活用が難しいという課題があります。

この度「ベアメール 迷惑メールスコアリング」に、DMARC レポートの分析機能が追加されました。迷惑メールスコアリングがユーザに代わって DMARC レポートを受信し、自動的にデータを集計、グラフや表として可視化します。DMARC レポートの分析機能は GOLD プラン以上で標準機能として利用でき、SILVER プランでは利用ドメイン数に応じた有償オプションとして利用可能です。迷惑メールスコアリングでは DMARC 分析以外にも、送信ドメイン認証や DNS 設定、メールフォーマットなどの問題点の洗い出しと改善策の確認、Gmail や iCloud といった主要なメールサービスに対する到達度の診断が可能です。迷惑メールスコアリングを利用することで、DMARC レポートの分析だけに留まらず、送信メールの正常性のモニタリングが可能になります。

加えて、通常のユーザサポートよりもさらに踏み込んだ個別の課題解決の支援を行う「プレミアムサポート」をオプションとして提供します。このオプションを利用することで、お客さまが直面している課題に対する具体的なアクションの整理や、迷惑メールスコアリングの診断結果や DMARC レポートをもとにした課題の抽出、DMARC ポリシーを強化するための対策の支援なども可能になります。

■DMARC 分析機能

● ドメイン管理

DMARC 対象ドメインの管理を行います。DMARC レポート代行受信用のメールアドレス発行や、DMARC レコードの生成が可能です。

● レポート分析

受信した DMARC 集計レポート（rua レポート）を可視化します。DMARC の認証状況がグラフによって一目で把握でき、SPF・DKIM の認証およびアライメントの結果も確認できます。送信元 IP アドレスや、SPF・DKIM・DMARC の認証結果でフィルタリングすることも可能です。

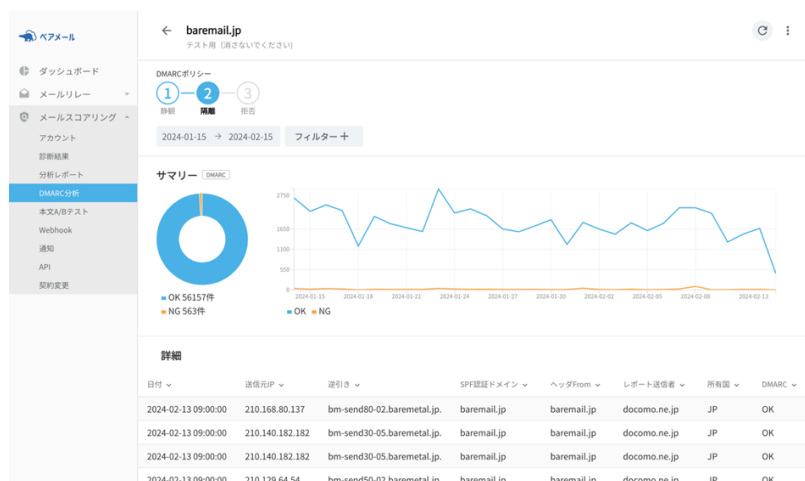
● 送信元 IP 管理（2024 年 5 月頃リリース予定）

自社がメール送信に利用している IP アドレスの管理が可能です。

● 改善アドバイス（2024 年 5 月頃リリース予定）

DMARC レポートをもとに、改善方法を提示します。

■DMARC 分析機能 管理画面（サンプル）



■ 「迷惑メールスコアリング」プラン表

	SILVER	GOLD	PLATINUM	PARTNER
初期費用	¥50,000	¥50,000	¥50,000	¥50,000～
月間利用料	¥9,000	¥34,000	¥59,000	¥65,000～
アカウント数	1	2	5	5～
診断結果保管数	5	15	25	10～
本文解析	○	○	○	○
SPAM エンジン	○	○	○	○
送信ドメイン認証	○	○	○	○
キャリア到達度診断	○	○	○	○
診断結果管理	○	○	○	○
分析レポート	○	○	○	○
改善アドバイス	△	○	○	○
DMARC 分析機能 (標準ドメイン数)	△	○ (3ドメイン)	○ (6ドメイン)	○ (5ドメイン～)
通知機能	-	○	○	○
API	-	-	-	○

※「△」は有償オプションです。

オプション費用	SILVER	GOLD	PLATINUM	PARTNER
DMARC 分析機能	¥15,000/月 (1ドメイン)	標準提供	標準提供	標準提供
DMARC 分析ドメイン追加 [1ドメインあたり]	¥15,000/月			ご相談
プレミアムサポート	¥100,000/月			

※ サブドメインも1ドメインとしてカウントします。

ベアメールは、今後も「重要なメールが顧客に届かない」という課題を解決するため、さまざまな機能の追加・強化をしていくほか、きめ細やかなサポートによりユーザ企業を支援してまいります。

迷惑メールスコアリングについて

迷惑メールスコアリングは、「ベアメール メールリレーサービス」で培ってきたメール配信のノウハウと AI 技術を組み合わせ、〈迷惑メールに判定される可能性〉が確認できるサービスです。ユーザはテストメールを送信するだけで多角的な診断を受けることができ、迷惑メールと判定される要因となる問題点や、その改善策を把握することができます。診断を自動化することで、送信メールの問題点及び健全性を常にモニタリングすることが可能になります。

■ Web サイト

迷惑メールスコアリング

<https://baremail.jp/maillscore/top/>

ベアメールについて

ベアメールは「メールを確実に届ける」ことを支援するサービスとして、メールの高速配信・到達率の改善を実現する「メールリレーサービス」と、迷惑メールになる可能性や原因を診断する「迷惑メールスコアリング」を提供しています。お客さまの環境や状況に応じて2つのサービスを組み合わせることで、メール配信に関する運用の手間を削減し、到達率の改善を実現します。

サービスの詳細は、<https://baremail.jp/> をご覧ください。

株式会社リンクについて

株式会社リンクは、業界最大級の稼働台数を持つ専用ホスティング「at+link」、クラウド型ホスティング「リンクベアメタルクラウド」を軸として、7年連続シェア第1位のクラウド型コールセンターシステム「BIZTEL」、セキュリティプラットフォームサービス「PCI DSS Ready Cloud」など、さまざまなインターネット関連サービスを提供しています。農系事業にも取り組んでおり、2011年10月からは岩手県岩泉町にある自然放牧酪農場「なかほら牧場」を運営しています。

事業の詳細は、<https://www.link.co.jp/> をご覧ください。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
株式会社イニシャル 根本、亀田、乗鞍（株式会社リンク PR 事務担当） TEL : 03-5572-6316 / FAX : 03-5572-6065 / Email : link-pr@vectorinc.co.jp